



TOHOKU
UNIVERSITY

東北大学東北アジア研究センター公開講演会

ロシアによるウクライナ侵攻を契機に 庇護希望者・難民を考える

2024

2/10 **土**

14時～17時

入場無料

対面・Webinar共に要申込
対面は先着90名まで

東北大学片平さくらホール
(ハイブリッド開催)

ロシアによるウクライナ侵攻により、多くの人がウクライナから他国に逃れ、庇護を求めている。

こうした人々は難民といえるのか、日本でも入管法改正に絡んで議論になった。

逆にロシアからも兵役を逃れるために多くの人が他国に逃れ、庇護を求めている。

こうした人々も難民といえるのだろうか。また日本では、日本語学校の元理事がウクライナからの避難民を「難民貴族」と呼び、報道機関により批判的に報じられたが、これは難民をみすぼらしい身なりの人たちと捉えるなどのバイアスの問題を提起する。

本セミナーではロシアによるウクライナ侵攻を契機に、こうした庇護希望者・難民をめぐる諸問題を考える。

■ 登壇者 / 岸見 太一 (福島大学准教授・政治学)

安藤由香里 (富山大学教授・国際人権法)

坂東 雄介 (小樽商科大学教授・憲法)

■ コメンテーター / 小坂田裕子 (中央大学教授・国際人権法)

■ 司 会 / 高倉 浩樹 (東北大学教授・社会人類学)



参加希望者は
QRコードからお申し込みください。

対面参加者用



<https://forms.gle/8MNqWidEVRQWtrpn9>

Webinar登録用



<https://qr.paps.jp/w7IKI>

申込締切: 2024年2月8日(木)17:00

プログラム

司会: 高倉 浩樹
(東北大学教授・社会人類学)

14:00-14:05 開会あいさつ

14:05-14:10 趣旨説明・講師紹介

14:10-14:50 講演1: 岸見太一 (福島大学准教授・政治学)

14:50-15:30 講演2: 安藤由香里 (富山大学教授・国際人権法)

15:30-15:45 休憩

15:45-16:25 講演3: 坂東雄介 (小樽商科大学教授・憲法)

16:30-16:40 コメント: 小坂田裕子 (中央大学教授・国際人権法)

16:40-17:00 自由討論

17:00 閉会あいさつ

共催 人間文化研究機構グローバル地域研究事業
東ユーラシア研究プロジェクト東北大学拠点

後援 東北大学国際法政策センター

お問合せ 東北アジア研究センター eestohoku2022@gmail.com



東北大学は「社会とともにある」大学として、社会と連動し、より広い支援を進めるために、ウクライナ支援の窓口となるポータルサイトを立ち上げました。

